



## まなびの ポケット

幼児期から

数える力を育てよう!

数の概念を理解している、ということはどういうことでしょうか。それは、数には「集合としての数」と「順序としての数」があり、それらを理解することです。しかし、それよりも幼児期には「数に興味を持つ」ことが大切です。就学後、算数がわかる子になるように、普段の生活の中で数に関することが自然と出てくるようになると良いですね。

## ココがポイント!



### 1 数える = 算数の勉強だけではない!

数える=算数の勉強 という狭い世界で大人が考えてはいけません。子どもが「数」への興味を持てば、これからの子どもの世界は無限に広がり、考え方に幅が広がるという信念を持ちましょう。

### 2 大人が数を唱えて、子どもが真似をするように

おやつの時、ままごと遊びの時など、大人が声に出して数えましょう。模倣期の子どもがそれを真似することから始まります。初めは、4は「よん」、7は「なな」と統一すると良いでしょう。

### 3 言い間違いを正さない

覚え始めの頃は、1.3.4と数を飛ばしたり、2個を3個と言ったりします。間違いを指摘し、正さないようにしましょう。数えていたら、そのこと自体を褒めたり、びっくりしたりして笑顔を見せましょう。大人が正しく言っていれば、自然と正しく訂正されますので心配はいりません。